

○岩手北部森林管理署の「採材現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和5年8月3日（木）に岩手県八幡平市の前森国有林で開催された「令和5年度 採材現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は晴天のなか、林業関係団体や県・市町村担当者、署管内の林業事業者など総勢35名の参加を得て開催されました。岩手北部森林管理署長の挨拶後、青森事務所から需要動向についての説明とともに、スギ等針葉樹の4m採材の推進や適切な仕訳の徹底、広葉樹一般材の採材や作業日報の電子管理によってボトルネックの解消を行う「生産性向上の取組」等に関して協力をお願いしました。その後、岩手県森林組合連合会の担当者から、市況動向や、広葉樹等の取り扱いについて、署の担当者から昨年度の販売状況、現地の概要、スギ・カラマツや広葉樹における採材の方法や留意事項について説明があり、実際の採材の検討に移りました。

会場に準備した高齢級カラマツ1本、広葉樹4本の計5本の試供木を対象に5班に分かれ採材の検討を行いました。各班による全ての試供木の検討後、各試供木について代表の1班から採材案の説明があり、それに対して岩手県森林組合連合会より採材の解説や留意事項などの情報提供がありました。様々な広葉樹や高齢級カラマツについて実際の試供木を前に、採材方法の検討・指導を受けることで参加者間で一般材採材への理解を深めることができました。最後に青森事務所から、採材検討の講評と労働安全等についてお話させていただき採材検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



（広葉樹採材の検討）



（広葉樹採材の解説）